

いちご一会とちぎ国体 競技紹介①「ボート競技」



ボート競技とは？

水上の直線コースで、オールを使ってボートを漕ぎ、順位を競う競技です。ゴールに背を向けて、後ろ向きで進みます。国体は1,000メートルのコースで競い、種目は次の写真のように、4種類あります。
〔舵手付きクオドルプル、舵手付きフォアは、漕ぎ手のほか、舵取り（舵手・コックス）が乗ります。〕



上段：シングルスカル
下段：ダブルスカル



舵手付きクオドルプル



舵手付きフォア

競技日程

10月1日（土）～4日（火）

競技会場

谷中湖特設ボートコース（渡良瀬遊水地谷中湖北ブロック）

見どころ

- ① 後ろ向きで漕ぐため、まっすぐ進むためには技術が必要です。舵取り（舵手・コックス）のいないシングルスカル、ダブルスカルは、進行方向を定めるのに、自分の艇が通った跡を見ながら調整しています。
- ② 穏やかな水面を進むスピードは、人間の力だけでこんなに速く進むのかと驚かされます。その速さは、選手たちの糸乱れぬチームワークによって達成されます。シンクロしたフォームの美しさと、スピード感に注目です！



※栃木県の小学生の中から優れた才能を持つ児童を発掘し、その能力を最大限発揮できるスポーツを見つけることで、世界で輝く未来のトップアスリートを輩出することを目指す事業。

栃木県選手団の紹介

【少年選手】

佐野高校、佐野東高校のボート部員を中心に構成されます。佐野市南部を流れる渡良瀬川や渡良瀬遊水地（谷中湖）が練習場所です。（練習風景は自由に見学できます。）

上位入賞が期待されるのは、飯塚百合子さん（栃木県出身、東京都の高校在学中。シングルスカル出場予定）です。県の「とちぎ未来アスリートプロジェクト」(*)で見いだされ、現在、日本ボート協会の強化指定の選手になっています。

【成年選手】

舵手付きフォアで出場予定の選手には、県の強化指定選手も在籍しています。仕事と練習の両立は大変ですが、上位入賞を目指し、厳しい練習を頑張っています。

市ホームページの
国体情報はこちら⇒



問 国体推進課 ☎ (21) 2022



特集1 いちご一会とちぎ国体（国民体育大会）・ いちご一会とちぎ大会（全国障害者スポーツ大会）開催！

この秋、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会が栃木県で開催されます。本市でも8競技を実施します。国体は3年ぶり、全国障害者スポーツ大会は4年ぶりの開催で、熱戦が期待されます。皆さんの熱い応援で大会をさらに盛り上げていきましょう！



国民体育大会は、昭和21（1946）年から開催されている国内最大のスポーツの祭典です。都道府県対抗で行われ、代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

本県では、昭和55（1980）年の栃の葉国体以来、42年ぶりの開催となります。

開催競技は、得点の対象になる「正式競技」のほか、「特別競技」「公開競技」「デモンストレーションスポーツ」があり、県内各市町で様々な競技を実施します。



栃木市開催競技日程

正式競技 4競技

10月1日（土）～10日（月）

「ボート」、「ハンドボール」、「カヌースプリント」、「なぎなた」

デモンストレーションスポーツ 2競技

8月27日（土）「ラグビー」

9月11日（日）「フットベースボール」



栃木市開催競技日程

10月29日（土）～31日（月）

正式競技 「フライングディスク（身・知）」

オープン競技 「車椅子ダンス（身）」

全国障害者スポーツ大会は、平成13（2001）年に第1回大会が宮城県で開催されて以降、オリンピック後に開催のパラリンピックと同じように、毎年、国民体育大会終了後に開催されています。

本県の開催は初めてであり、計17競技（正式競技14競技、オープン競技3競技）を実施します。

※身：身体障がい者が出場できる競技
知：知的障がい者が出場できる競技

※日程や詳細は、ホームページをご覧ください。また、広報とちぎ9月号に「観戦ガイド」を折り込む予定です。

今号から、本市で開催する国体競技と、障害者スポーツ大会競技について、連載でお知らせしていきます。初回は、「ボート競技」についてです。（左ページへ続く！）